

日高 義博



この度の役員改選により、11月3日付で学校法人専修大学理事長に就任いたしました。5期目の理事長職となりますが、今期は、専修大学創立140周年に向けた大学改革も最終局面に突入します。また、カレッジスポーツの振興、学生支援体制の充実なども重要課題であります。2020年には専修大学は創立140周年、石巻専修大学は創立31周年を迎えますが、オール専修の力を結集し、すでに策定されている事業計画を完

れており、また生田キャンパスでは、経済学部を3学科制に改組することが構想されています。さらに、同年には商学部を神田キャンパスに移すことが計画されています。いずれも、計画実現まで予断を許さない状況にあります。が、大学の大学改革の狙いが研究に基づく教育を行い、かつ「社会知性の開発」を実現していくことにありますので、万難を排して策定された計画を創立140周年までに実現しなければなりません。

オール専修の力を結集

取り巻く状況は、東京23区内の入学生抑制制問題、大学の存立に影響を及ぼす2040年問題など、ますます厳しいものになっています。専修大学の大学改革は、十数年前にその構想を立て、年次計画に従って、キャンパス整備、学部の改組転換、新学部の設置計画などを進めてまいりました。

また、この大学改革と連動して、キャンパス整備を行ってまいりました。現在進捗中の神田靖国通り新校舎の建設は、重要な事業の一つです。東京オリンピックと重なる厳しい状況の中で、20年3月までに新校舎を竣工すべく、鋭意建設工事が進められています。専修大学のシンボルとなる新校舎

19年4月には、経営学部にビジネスデザイン学科が、文学部にジヤーンリズム学科が新設されまことにになりました。

す。20年4月には、神田キャンパスに国際系新学部設置が構想され、石巻専修大学では、11年の東日本大震災により大きな影響を受け

ましたが、校舎自体は震災に耐えました。学生の住環境の確保のためにユニバーシティハウスを建設するとともに、被災学生を救済すべく諸々の方策を講じました。地域社会の復興・再建の一端を担うため、大変な負荷に耐えながら、も、「地域に根ざした大学」としての役割を果たしています。また、理工、経営、人間の3学部間で学部横断的な授業の取り組みが始まり、文理融合による人材の育成も始まっています。

石巻専修大学における最重要課題は、震災後の入学定員割れの状況を速やかに脱却し、入学定員の充足を図ることです。今年度の入試では8割に達しましたが、来年度の入試が正念場です。大学入試の志願者数は、大学にとって心臓の鼓動であり、社会的評価のバロメーターであることを肝に銘じなければなりません。

今期の役員体制においても副担当を設けまし

立140周年・石巻専修大学創立30周年記念事業の完遂を図り、大学組織の活性化を図ります。また、事務組織も一部改変しました。大学史料室を独立の部局とし、文書統括部を設けて、その下に文書課と法務課を置きました。18歳人口が減少し財政状況が厳しくなっていく中にあっても、本学の建学の精神を羅針盤として、創立150年に向けた長期計画の策定もしなければなりません。今後とも支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

快晴に恵まれ、にぎわいを見せる4号館前広場＝11月2日

3面で特色紹介



ホームカミングデーで武田
徹文学部教授(左)と対談す
る長野さん



ホームカミングデー開催 青春の思い出に浸る

創立139年専修大学鳳祭が11月1日から4日まで生田キャンパスで開催され、学生や遠方からの校友、ご父母・保護者や近隣の方々で大いにぎわった。今年のテーマは「咲——まだ見ぬ未来への華ひらく。あいにくの雨だった最終日を除いておおむね晴天に恵まれた。会場には花をモチーフにした装飾物が多数設置され、教室展示や模擬店、ステージ発表を楽しむ人々の笑顔が咲きそろった。

3日は卒業生を対象にしたホームカミングデーが開催

された。小宮多喜次校友会長の「きょう一日、青春の思い出に浸りながら楽しんで」とのあいさつで開幕。9号館アトリウムでは、仲川恭司名誉教授の講演会などが開催された。午後からは報道キャスター長野智子さんが出演。来年度開設の文学部ジャーナリズム学科の特任教授に就任することが公表された。

鳳祭の歴史を紹介するパネル展などもあり、校友は校内のあちらこちらで思い出話に花を咲かせていた。

(6・7面に関連記事、写真特集)

一エース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
☎101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

統計解析の現状を分析　自然科学研究所公開講座……………②

４年次生が就活のコツ伝授　学生就職アドバイザー……………④

会計教育１００周年・会計学科５０周年で記念式典……………⑤

和楽器の調べ華やか三曲研究会第５０回定期演奏会……………⑧

仲川名誉教授が書を寄贈　生田・蒼翼の間に展示……………⑨

石巻専修大学　研究ブランディング事業の成果報告……………⑩

「センディ」LINEスタンプ



専修大学
フィルハーモニー
管弦楽団
第46回定期演奏会

12月8日(土)
ミューザ川崎シンフォニーホール
【時間】開場13:20 開演14:00
【入場料】1000円(全席自由)
【曲目】チャイコフスキー「交響曲第2番」
▽チャイコフスキー「幻想序曲」ロメオとジュリエット
▽ヨハン・シュトラウスJr「美しき青きドナウ」
【指揮者】林憲秀氏

お問い合わせ(E-mail)
senshuphil@gmail.com